
研究活動報告

国際開発学会第23回全国大会

国際開発学会第23回全国大会は、2012年12月1日（土）～2日（日）に、神戸大学で開催された。国際開発、援助協力について、教育、保健、経済・貧困削減、環境といった多様な分野の世界各地域に関する研究報告と討議が行われたほか、共通論題シンポジウムとして「東日本大震災と災害弱者：国際開発協力への教訓」と題し、日本の災害対策と国際開発との比較、また相互作用について議論が交わされた。

社会保障分野では、経済格差・貧困分析、障がい児教育、ジェンダーと開発論、健康保険制度、人口分野では人口統計制度（報告者発表）、専門人材の国際移動、移住労働と人身取引、といったトピックの発表があった。

会場では、今後の世界の開発において人口問題が非常に重要になってくること、特に石油から作られる化学肥料を含めたエネルギー問題と食糧・人口問題との関わりを真剣に議論するべきである、との意見も聞かれ、国際開発に人口問題は欠かすことのできない基礎的分野であることが再認識された。

（林 玲子記）

日本社会学会第85回大会

日本社会学会第85回大会が2012年11月3日（土）～4日（日）に札幌学院大学（北海道江別市）で開催された。一般発表296件、ポスター発表22件のほか、テーマセッションで42件、英語部会で22件、研究活動委員会テーマセッションで23件の報告があった。人口関連分野の報告も行われた。以下、主なものについて発表題目を紹介する。

- 「出生率の地域差の背景要因についての分析」 第一生命経済研究所 松田 茂樹
- 「新しい初婚関数とその妥当性について」 帝京大学 池 周一郎
- 「なぜ中国で隔世世帯が増えたのか？」 東京大学 張 継元
- 「何人と交際すれば結婚できるのか」 成蹊大学 小林 盾
- 「子育てにおけるネットワーク資源の効果の地域間比較」 専修大学 金井 雅之
- 「若年雇用の非正規化と妊娠・出産期の退職」 労働政策研究・研修機構 池田 心豪
- 「女性の初職・非正規就業が結婚タイミングへ及ぼす影響」 静岡大学 吉田 崇
- 「現代の日本の自殺について」 南山大学 阪本 俊生
- 「積極的労働市場政策は自殺率を下げるか」 同志社大学 柴田 悠
- 「結婚が地位として意識されるとき」 学習院大学 数土 直紀
- 「都道府県別県外転出構造における東京都の位置」 一橋大学 小股 遼

（是川 夕 記）